



UR 都市機構

## 西東京市とUR都市機構による

### 「ひばりが丘パークヒルズにおける連携協力に関する協定」の締結について

西東京市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）は、7月31日（月）に「ひばりが丘パークヒルズにおける連携協力に関する協定」を締結いたしました。

この協定は、UR都市機構が管理するひばりが丘パークヒルズ（ひばりが丘3丁目）（以下「団地」という。）において、両者が連携協力して、西東京市が掲げるまちづくりの目標である「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」及びUR都市機構による団地の地域医療福祉拠点化の目的である「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち（ミクストコミュニティ）」を実現することを目指しています。

連携協力項目は以下のとおりです。

- 一 超高齢社会における地域づくりに関すること
- 二 包括的な地域福祉の体制づくり及び在宅療養の推進に関すること
- 三 健康寿命の延伸及び健康づくりに関すること
- 四 多世代交流の促進、居場所づくり及び全世代型の相談体制の構築に関すること
- 五 その他、地域の活性化及び賑わいの創出に関すること

本年5月からは、協定に先行し、団地の集会所にて、西東京市と東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）との連携事業である「フレイル<sup>※</sup>予防事業」（都内初の取組）をモデル的に開始しています。

今後更に、両者が連携協力し、団地再生事業で整備した各種サービス基盤や地域関係者のネットワークの活用を図りながら、協定の理念の実現に向けた取組みを行ってまいります。

※フレイル…「虚弱」を意味する英語の「frailty」が語源。元気な状態と介護が必要な状態の間のことを行い、年を重ねて心身の活力が低下した状態。

#### 【お問い合わせ先】

○UR都市機構東日本賃貸住宅本部

多摩エリア経営部 ストック・ウェルフェア推進課 大宅

（電話）042-595-9215

総務部 総務・法務課 広報担当 前田

（電話）03-5323-2555

■資料

1 ひばりが丘団地 団地再生事業概要

所在地 西東京市ひばりが丘三丁目5、  
東久留米市ひばりが丘団地ほか

敷地面積 約33.9ha（従前団地）

管理開始 昭和34年度（従前団地）

従前戸数 2,714戸（低・中層 2～4階）

建替後戸数 1,528戸※（中・高層 3～12階）  
※建替対象外のUR賃貸住宅24戸を含む

事業期間 平成10年度～平成27年度



2 UR賃貸住宅（ひばりが丘パークヒルズ）概要

入居開始年月	平成16年3月～平成24年7月
間取り	1K～4LDK（メゾネット）
専有面積	約40㎡～約106㎡
管理戸数	1,504戸

3 土地利用図



平成29年7月末日時点（一部、計画を含む）